

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第90期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	三井製糖株式会社
【英訳名】	Mitsui Sugar Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 飯田 雅明
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋箱崎町36番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	経本部経統括部長 馬鳥 秀彰
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋箱崎町36番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	経本部経統括部長 馬鳥 秀彰
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第2四半期連結 累計期間	第90期 第2四半期連結 累計期間	第89期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	48,303	47,808	96,213
経常利益(百万円)	2,478	4,089	6,181
四半期(当期)純利益(百万円)	1,492	2,495	4,451
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,510	3,122	5,031
純資産額(百万円)	57,383	63,070	60,483
総資産額(百万円)	86,069	88,988	93,294
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	11.20	18.72	33.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	61.91	66.15	60.40
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	7,242	10,782	8,003
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,988	1,233	3,667
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	4,453	8,275	1,533
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	4,638	8,913	7,640

回次	第89期 第2四半期連結 会計期間	第90期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.89	9.74

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレからの脱却を目指す各種政策（アベノミクス）により、当初は期待感から始まった為替相場の是正や株式市場の回復傾向が定着し、生産活動や個人消費への波及など徐々に回復の動きを強めております。一方で、家計所得への還元が不確定の中、来年度からの消費増税が決定されるなど、先行きの不透明感の一扫には至っていないものと考えられます。

このような状況の中、当社グループは期初に掲げた連結経常利益の史上最高益を目指すべく、第4次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution 2013（2012年4月～2014年3月）」の達成に向けて邁進して参りました結果、当第2四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下のとおりとなりました。

(砂糖事業)

砂糖事業につきましては、前年10月に実施致しました岡山工場の神戸工場への生産集約を中心としたコストダウンに注力し、製造固定費削減などの効果は上げたものの、製造変動費については、円安などにより引き続きエネルギーコストの上昇などの影響を余儀なくされました。

海外粗糖相場につきましては、世界最大の生産・輸出国ブラジルでの降雨による収穫遅れやエタノール生産の増加などを背景にした強材料と、同国での供給懸念の後退やアジア地区最大の輸出国タイ国での好調な生産見通しと生産国の通貨安などの弱材料が交錯し、比較的小幅レンジで推移しましたが、9月には徐々に水準を切り上げる動きとなっております。

売上高としては、海外粗糖相場の影響などから前年比での国内販売価格水準が下落したことや、第1四半期での天候不順、期を通じた量販店での家庭用特売の減少などから販売量も伸び悩み、前年同期を下回る結果となりました。

一方、連結子会社につきましては、販売量の増加などから前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、売上高42,342百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は1,925百万円(前年同期比73.5%増)となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋 1kg当たり）

期を通じて182円～183円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値17.70セント 高値18.15セント 安値15.93セント 終値17.55セント

(食品素材事業)

食品素材事業につきましては、前年7月に連結子会社株式会社タイショーテクノスが田辺三菱製菓株式会社より食品事業の一部を譲り受けたことが貢献し増収となりましたが、既存事業のパラチノースの製造コスト負担増など減益要因があり、売上高は4,890百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益は165百万円(前年同期比8.0%減)となりました。

(不動産事業)

引き続き社有不動産の効率的活用に努めましたが、前年度において賃貸物件の一部を売却したことを主因として売上高、営業利益ともに前年同期を下回った結果、売上高は575百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益は293百万円(前年同期比19.1%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は47,808百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は2,384百万円(前年同期比44.3%増)となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー1,735百万円を計上したことなどから経常利益は4,089百万円(前年同期比65.0%増)、四半期純利益は2,495百万円(前年同期比67.2%増)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は8,913百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,272百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は10,782百万円(前第2四半期連結累計期間は資金の増加7,242百万円)となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益4,103百万円、減価償却費1,668百万円、たな卸資産の減少6,061百万円等により資金が増加した一方で、売上債権の増加165百万円、法人税等の支払1,256百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は1,233百万円(前第2四半期連結累計期間は資金の減少2,988百万円)となりました。

これは主として、有形固定資産の売却による収入62百万円等により資金が増加した一方で、有形固定資産の取得による支出1,283百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は8,275百万円(前第2四半期連結累計期間は資金の減少4,453百万円)となりました。

これは主として、借入金の純減少7,739百万円、配当金の支払532百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、338百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	141,667,400	141,667,400	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	141,667,400	141,667,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	141,667,400	-	7,083	-	1,177

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
三井物産株式会社 (常任代理人 資産管理サービ ス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区大手町一丁目2 - 1 (東京都中央区晴海一丁目8 - 12)	43,045	30.38
三井製糖株式会社	東京都中央区日本橋箱崎町36 - 2	8,122	5.73
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅四丁目9 - 8	5,000	3.52
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8 - 11	3,758	2.65
日本スタートラスト信託銀行株 式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11 - 3	3,564	2.51
三井住友海上火災保険株式会社	東京都千代田区神田駿河台三丁目9	3,154	2.22
ザ チェース マンハッタン バ ンク エヌエイ ロンドン エ ス エル オムニバス アカウン ト	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND	2,832	1.99
双日株式会社	東京都千代田区内幸町二丁目1 - 1	2,500	1.76
ジェーピー モルガン チェー ス バンク 385166	25 BANK STREET, CANARY WHARF, LONDON, E14 5JP, UNITED KINGDOM	2,438	1.72
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1 - 2	2,430	1.71
計	-	76,844	54.24

(注) 上記三井物産株式会社(常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)の所有株式数には、三井物産株式会
社名義の株式が2,001千株含まれております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 8,522,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 132,409,000	132,409	同上
単元未満株式	普通株式 736,400	-	同上
発行済株式総数	141,667,400	-	-
総株主の議決権	-	132,409	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三井製糖株式会社	東京都中央区日本橋箱崎町36-2	8,122,000	-	8,122,000	5.73
南西糖業株式会社	東京都千代田区岩本町三丁目2-9	400,000	-	400,000	0.28
計	-	8,522,000	-	8,522,000	6.02

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,648	8,921
受取手形及び売掛金	6,380	6,546
商品及び製品	15,440	8,186
仕掛品	1,764	1,412
原材料及び貯蔵品	4,526	6,070
繰延税金資産	601	607
その他	1,057	1,003
流動資産合計	37,420	32,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,917	32,817
減価償却累計額	21,703	21,853
建物及び構築物(純額)	11,213	10,963
機械装置及び運搬具	74,052	73,799
減価償却累計額	60,524	60,832
機械装置及び運搬具(純額)	13,527	12,966
工具、器具及び備品	2,259	2,278
減価償却累計額	1,874	1,912
工具、器具及び備品(純額)	384	366
土地	18,045	18,027
リース資産	35	58
減価償却累計額	6	9
リース資産(純額)	29	49
建設仮勘定	87	686
有形固定資産合計	43,287	43,059
無形固定資産		
無形固定資産合計	780	694
投資その他の資産		
投資有価証券	9,979	10,648
長期貸付金	54	49
繰延税金資産	925	881
その他	868	927
貸倒引当金	22	22
投資その他の資産合計	11,805	12,484
固定資産合計	55,874	56,238
資産合計	93,294	88,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,956	6,223
短期借入金	8,300	1,600
1年内返済予定の長期借入金	2,059	1,859
リース債務	4	7
未払費用	2,839	2,592
未払法人税等	1,206	1,399
未払消費税等	133	337
役員賞与引当金	57	27
資産除去債務	-	1
その他	1,210	1,794
流動負債合計	21,767	15,844
固定負債		
長期借入金	4,503	3,664
リース債務	24	42
繰延税金負債	1,062	1,140
退職給付引当金	3,069	3,038
役員退職慰労引当金	121	137
資産除去債務	294	282
長期預り保証金	809	759
その他	1,158	1,007
固定負債合計	11,043	10,072
負債合計	32,811	25,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,255	1,255
利益剰余金	51,205	53,167
自己株式	2,916	2,917
株主資本合計	56,627	58,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	332
繰延ヘッジ損益	5	0
為替換算調整勘定	554	51
その他の包括利益累計額合計	277	280
少数株主持分	4,133	4,202
純資産合計	60,483	63,070
負債純資産合計	93,294	88,988

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	48,303	47,808
売上原価	38,906	37,642
売上総利益	9,397	10,165
販売費及び一般管理費		
配送費	2,106	2,159
役員賞与引当金繰入額	23	26
退職給付引当金繰入額	81	81
役員退職慰労引当金繰入額	15	15
その他	5,518	5,498
販売費及び一般管理費合計	7,744	7,780
営業利益	1,652	2,384
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	56	75
受取ロイヤリティ	848	1,735
持分法による投資利益	209	130
雑収入	164	128
営業外収益合計	1,280	2,073
営業外費用		
支払利息	81	68
固定資産除却損	109	94
設備撤去費	116	111
雑損失	146	94
営業外費用合計	454	367
経常利益	2,478	4,089
特別利益		
投資有価証券売却益	59	-
固定資産処分益	45	-
補助金収入	-	54
負ののれん発生益	2,134	-
特別利益合計	2,238	54
特別損失		
固定資産圧縮損	-	41
減損損失	¹ 40	-
投資有価証券評価損	15	-
段階取得に係る差損	2,121	-
支払補償費	105	-
その他	60	-
特別損失合計	2,342	41
税金等調整前四半期純利益	2,374	4,103
法人税、住民税及び事業税	661	1,450
法人税等調整額	201	92
法人税等合計	863	1,543
少数株主損益調整前四半期純利益	1,511	2,560
少数株主利益	18	64

四半期純利益

1,492

2,495

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,511	2,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	35
繰延ヘッジ損益	6	10
持分法適用会社に対する持分相当額	38	516
その他の包括利益合計	1	562
四半期包括利益	1,510	3,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,480	3,053
少数株主に係る四半期包括利益	29	69

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,374	4,103
減価償却費	1,870	1,668
固定資産処分損益(は益)	45	32
減損損失	40	-
持分法による投資損益(は益)	209	130
退職給付引当金の増減額(は減少)	115	31
のれん償却額	44	25
負ののれん発生益	2,134	-
段階取得に係る差損益(は益)	2,121	-
受取利息及び受取配当金	57	78
支払利息	81	68
補助金収入	-	54
固定資産圧縮損	-	41
支払補償費	105	-
売上債権の増減額(は増加)	658	165
たな卸資産の増減額(は増加)	5,777	6,061
仕入債務の増減額(は減少)	1,144	31
未払消費税等の増減額(は減少)	19	203
その他	461	268
小計	8,493	11,978
利息及び配当金の受取額	57	73
利息の支払額	83	69
補助金の受取額	-	54
補償金の支払額	105	-
法人税等の支払額	1,120	1,256
法人税等の還付額	-	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,242	10,782
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,594	1,283
有形固定資産の売却による収入	512	62
投資有価証券の取得による支出	5	5
投資有価証券の売却による収入	121	3
事業譲受による支出	542	-
子会社株式の取得による支出	391	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	26	-
その他	63	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,988	1,233

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,000	1,050
短期借入金の返済による支出	7,300	7,750
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	8,500	-
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	7,000	-
長期借入れによる収入	941	-
長期借入金の返済による支出	1,045	1,039
自己株式の取得による支出	0	1
配当金の支払額	532	532
少数株主への配当金の支払額	5	-
その他	11	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,453	8,275
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	199	1,272
現金及び現金同等物の期首残高	4,838	7,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 4,638	¹ 8,913

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入等に対する連帯保証

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
クムパワピーシュガー(株)	8百万円	カセットボンシュガー(株)	24百万円
カセットボンシュガー(株)	69	(株)ホクイー	11
(株)ホクイー	21		
計	100	計	35

(四半期連結損益計算書関係)

1. 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

減損損失を認識した資産グループの概要

場所	用途	種類
岡山工場 (岡山市南区)	パラチノース生産 設備	建物及び構築物、機械装置及び運搬具、工具器具及び備品

減損損失に至った経緯

岡山市南区に所在する岡山工場のパラチノース生産設備について、営業損益が悪化し、短期的な業績の回復が見込めないため、減損損失を認識しております。

減損損失の内訳

建物及び構築物	0百万円
機械装置及び運搬具	39百万円
工具、器具及び備品	1百万円
計	40百万円

グループピングの方法

固定資産を砂糖事業グループ、食品素材事業グループと不動産事業グループとに大区分し、さらに砂糖事業グループは工場別に区分しております。食品素材事業グループは主としてパラチノースグループ、色素グループ、寒天・ゲル化剤グループ、バイオグループに区分しております。不動産事業グループは賃貸物件毎に区分しております。なお、遊休資産につきましては、個々の物件毎に区分しております。

回収可能価額の算定方法

パラチノース生産設備につきましては、回収可能価額は正味売却価額によっておりますが、他への転用が困難なため0円と評価しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	4,646百万円	8,921百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	8	8
現金及び現金同等物	4,638	8,913

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	534	4.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	400	3.0	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	534	4.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月30日 取締役会	普通株式	400	3.0	平成25年9月30日	平成25年12月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	砂糖事業	食品素材事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,240	4,432	629	48,303	-	48,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	-	38	62	62	-
計	43,264	4,432	668	48,365	62	48,303
セグメント利益	1,109	180	362	1,652	-	1,652

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	砂糖事業	食品素材事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,342	4,890	575	47,808	-	47,808
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	-	27	53	53	-
計	42,368	4,890	602	47,861	53	47,808
セグメント利益	1,925	165	293	2,384	-	2,384

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円20銭	18円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,492	2,495
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,492	2,495
普通株式の期中平均株式数(千株)	133,351	133,347

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月30日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....400百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月4日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

三井製糖株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 陸田 雅彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池田 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三井製糖株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三井製糖株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。